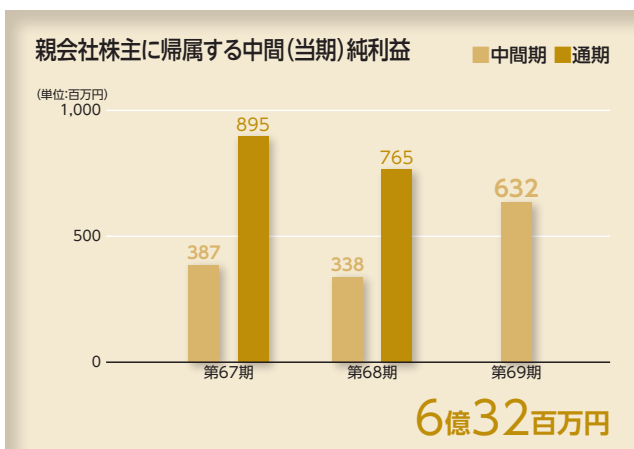
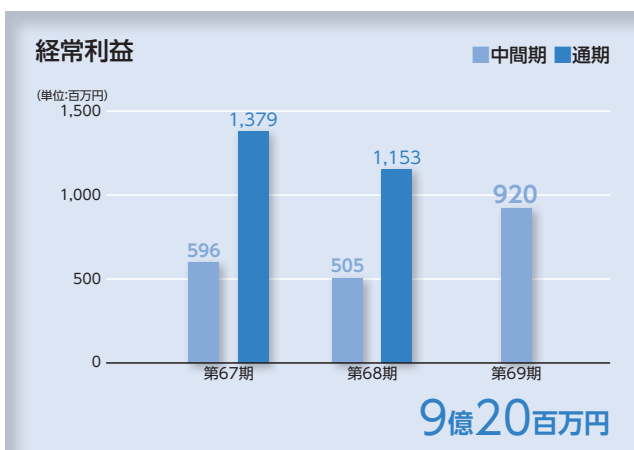


決算ハイライト (連結)

Financial Highlights



会社の概要

Corporate Data

社名	株式会社 鳥羽洋行 (英文表記 TOBA,INC.)
本社	東京都文京区水道二丁目8番6号
設立	昭和24年12月14日 (創業: 明治39年9月15日)
資本金	11億4,800万円
事業内容	制御機器、産業用ロボット、計測計装機器、コンピューター、電子機器、搬送機器、建設・管工機器、ファスナー、環境整備機器、機械工具、工作機械、理化学機器、化学工業薬品類等の販売及び輸出入。 上記に関する生産設備効率化のためのコンサルタント。 機械工具器具とその部品類の加工販売及び輸出入。 古物売買業。
従業員数	連結 235名 / 単体 209名 (嘱託社員を除く) (平成29年9月30日現在)

株主メモ

Shareholder Memo

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	3月31日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
配当金受領株主確定日	3月31日 中間配当を行う場合は、9月30日
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 [電話照会先]	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
単元株式数	100株
公告方法	電子公告により行います。 (http://www.toba.co.jp/) ただし、やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。

第69期 中間報告書

Interim Business Report 2017 2017.4.1 ▶ 2017.9.30

先端技術で
社会と産業の進化を支える

TOBA 株式会社 **鳥羽洋行**
証券コード: 7472

株主の皆様へ

To Our Shareholders

平素は、格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに、当社第69期中間期(平成29年4月1日から平成29年9月30日まで)のご報告にあたり、ご挨拶申し上げます。

当中間期の世界経済を概観しますと、米国経済は好調な労働市場と住宅市場に支えられて堅実な成長が続いており、欧州経済も英国の減速感はあるもののユーロ圏全体としては内需主導の景気拡大が続いております。また、中国をはじめとする新興国経済も、世界経済の好循環に支えられて緩やかな成長を維持しております。

一方わが国経済は、世界経済の拡大を背景とした外需に加えて、個人消費を中心とした内需にも後押しされて拡大傾向が続いております。

このような経済状況の中で、当社グループは国内外を問わず普及が続くスマートフォンやタブレット端末に関連する得意先、IoT(モノのインターネット)化推進のための需要が好調な半導体・半導体製造装置に関連する得意先、及びASV(先進安全自動車)普及のための技術開発が進む自動車・車載部品に関連する得意先を中心に積極的な販売展開を行ってまいりました。

以上の結果、当中間期の連結売上高は139億21百万円(前年同期比32.1%増)、連結営業利益は8億64百万円(前年同期比86.1%増)、連結経常利益は9億20百万円(前年同期比82.2%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は6億32百万円(前年同期比86.8%増)となりました。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



平成29年12月

代表取締役社長
鳥羽 重良

制御機器 生産工場の構成には欠かせない

売上高44億86百万円

制御機器は、空気圧機器、電子センサー、圧力センサー、流体継ぎ手、真空機器、緩衝材等で構成されており、主としてデジタル機器、半導体・液晶製造装置、基板実装機、自動車・車載部品等を製造する得意先へ販売しております。

当中間期におきましては、国内の得意先全体的に設備投資は堅調に推移しました。中でも物流システムに関する得意先や電池製造装置に関する得意先からの空気圧機器の需要が前年同期を上回るとともに、精密機器及び半導体製造装置に関する得意先からの需要も好調であったこと等により、制御機器全体の連結売上高は44億86百万円（前年同期比27.2%増）となりました。

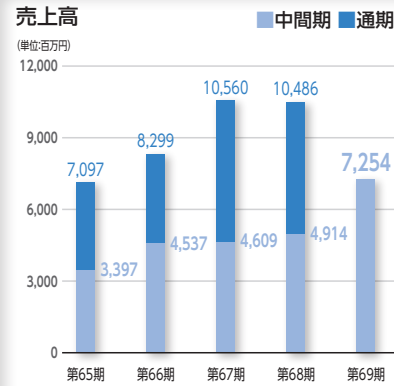


FA機器 工場の自動化・コストダウンを実現

売上高72億54百万円

FA機器は、産業用ロボット、自動組立機、表面実装システム、レーザー加工機、精密塗布装置等で構成されており、主としてデジタル機器、自動車・車載部品、OA機器、医療機器等を製造する得意先へ販売しております。

当中間期におきましては、国内外の得意先における自動化・省力化のための設備投資需要は、前期に引き続いて旺盛でありました。国内におきましては電子・精密・自動車等の幅広い得意先からのFAロボット等の需要が好調に推移いたしました。また、国外におきましては、従来から好調に推移しているスマートフォン等に関する得意先からの単軸ロボット需要が継続して増加していること等により、FA機器全体の連結売上高は72億54百万円（前年同期比47.6%増）となりました。

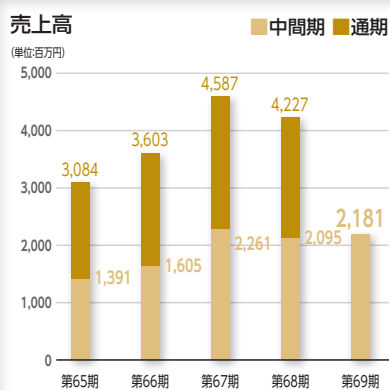


産業機器 生産組立て作業に使用されている

売上高21億81百万円

産業機器は、電動ドライバー、アルミフレーム、無人搬送車、コンベア、揚重機、ろ過フィルター、環境システム等で構成されており、主としてデジタル機器、自動車・車載部品、医療機器、精密機器等を製造する得意先へ販売しております。

当中間期におきましては、国内における設備投資需要の増加に伴い、当部門の大きな柱となっているフィルターの需要が堅調を維持しました。また、電動ドライバーも業種を問わず好調であったことに加えて、自動車に関連する得意先からの無人搬送車（AGV）の需要も加わったこと等により、産業機器全体の連結売上高は21億81百万円（前年同期比4.1%増）となりました。



（注）第67期より連結決算に移行しております。第66期までの数値につきましては単体の数値です。

新商品紹介
高精度電動ディスペンサー“Tofutty”
（株式会社アイカムス・ラボ提供）

当社は、アイカムス・ラボ社と高精度電動ディスペンサー「Tofutty」（トフティ）等の取り扱いに関する代理店契約を締結しています。アイカムス・ラボ社は、自社のメカトロニクス技術や大学の技術活用などを行いながら新しい製品と技術を発信するベンチャー企業です。当社は、アイカムス・ラボ社の可能性に目を向け、電動ディスペンサー「Tofutty」の販売を開始しました。

この「Tofutty」は0.1μl（マイクロリットル）単位という微量な吐出を高精度に行うことに優れている装置で、吐出量を厳格に管理しなければならない精密機器や医療機器などの製造現場で、接着剤などの塗布に利用されており、大変注目を集めている商品です。



株主の皆様へアンケートのお願い

当社では、株主の皆様の声伺い、株主様とのコミュニケーションの充実を図っていきたくと考えております。同封のアンケートはがきにご記入の上、最寄のポストへご投函ください。

何卒ご協力をお願い申し上げます。

